

# 坂 出 港 統 計 要 覽

平成 1 7 年

坂出市都市建設部 港湾課

## 坂出港の概要

坂出港は、香川県の中央部に位置し、阪神・関門の中間港として、また、瀬戸内海における海上交通の要衝として、重要な役割を占めている。昭和40年4月に県営工事として着工した番の州の埋立地は、昭和42年に川崎重工業(株)が操業開始し、つづいて三菱化成(株)、四国電力(株)、アジア共石(株)、吉田工業(株)等大型の近代企業群が相次いで立地操業を開始し、香川県工業開発の中核となり、本港の貨物取扱量の飛躍的増大をもたらした。また、この番の州埋立地は冬期の北西の季節風を防御し、港内は極めて静穏となった。

坂出港の生成と発展過程は、塩田の築造と深いかわりをもっている。すなわち、170数年前(文政7年12年)塩田の築造によって、石炭の荷揚げ、塩の積出等の港が必要となり、天保2年(西暦1831年)帆船錨地として、塩田地先に船だまり(現在の沖湛甫)を築造した。その面積約26,000㎡で水深、防風の設備が良く、当時全国の良い港24港の一つに数えられた。

香川県の塩田は塩の干満を利用して海水を塩田に引き入れ、太陽熱・冬期の季節風・砂の毛細管現象等を利用して海水を濃縮し、これを釜で煮つめて塩を作る入浜式塩田といわれるもので、気象条件に恵まれたことによって、製塩地として後進地域であったが、明治時代に入り塩田の築造が盛んとなり、他の産地を圧倒して全国屈指の製塩地となった。製塩業の隆盛により産塩輸送の増大と共に、後背地の麦を加工した精麦・製粉等の移出も盛んとなり、遠く京浜・北海道方面との取り引きも頻繁となり物資の集散地となった。このように物資の集散が盛んとなるにつれ、港湾築造の要望が高まり、また、輸送船舶も造船技術の革新により近代化・大型化され、汽船も利用されるようになり、昭和2年から昭和7年まで町営事業として西岸壁、西防波堤、東西埋立地(約31ha、東埋立地=現在の昭和町二丁目、西埋立地=現在の築港町二丁目)を築造した。西岸壁の背後には倉庫も建設され、商圏も朝鮮・台湾・北海道・樺太までに達し、近代的な商港としての発展の契機となった。

昭和 12 年から中央突堤の建設工事を県営事業として着手したが，第 2 次世界大戦のため工事中断し，昭和 32 年 2 月によようやく完成した。この間，昭和 21 年 12 月，南海大震災があり，西岸壁が崩壊し坂出港の機能は停止の状況になったが，戦後の資材不足を克服し，国から特別の財政援助も得て，矢板岸壁により約 3 ヶ年で復旧させた。中央突堤は東側に水深 10m 岸壁を 1 パース，西側に水深 8 m 岸壁 1 パース，北側に水深 6 m 岸壁 1 パースを有し，後背地には倉庫・サイロが建設され，現在も商港機能の中核施設となっている。

昭和 23 年 1 月には開港の指定を受け，同年 7 月には港則法による港域が設定された。その後昭和 26 年 9 月には重要港湾に格付けられ，昭和 28 年 7 月には坂出市が港湾管理者として認可され，税関・海上保安署・検疫所・植物防疫所・入国管理事務所等の行政機関も設置された。

坂出港築造の基盤となった塩業は，昭和 34 年の塩業整理で約 386ha のうち約 1/3 が廃止されるとともに従来の入浜式塩田から流下式塩田に改められ，昭和 46 年末には塩業近代化の措置により塩田による製塩は全面的に廃止されイオン交換樹脂膜による工場生産となった。このため官民一体となった塩田跡地の開発が遂次行われ，昭和 37 年から同 38 年には東運河地区の金山新塩田に水深 4.5m の岸壁 9 パースが整備され臨海工業用地へと転換がはかられた。また，林田地区では昭和 44 年から林田塩田の再開発を進め，水深 4.5m 岸壁 2 パース，水深 5.5m 岸壁 3 パースを整備。昭和 51 年にはその地先海面の埋立てにも着手し，同 57 年には水深 7.5m 岸壁 2 パース，水深 12m 岸壁 1 パースの大型岸壁を整備，供用開始し，坂出市東部再開発の中核となった。

また，「世紀の大事業」といわれる本州四国連絡橋（瀬戸大橋）は昭和 53 年 10 月 10 日に着工され，昭和 63 年 4 月 10 日開通するとともに，四国横断・縦断自動車道の延伸が図られるなど，坂出港を基軸とする高速交通ネットワークが形成されてきており，四国側の海陸結節点として飛躍発展を遂げようとしている。

このため，平成 3 年に阿河浜地区の水深 7.5 岸壁を平成 4 年には松ヶ浦地区の水深 5 m 岸壁 2 パースを供用開始した。

また、平成6年には、港湾背後の幹線道路の整備に大きく寄与する総社地区の小型船だまりを沖出し整備するとともに、平成12年5月には坂出港東部地区の各埠頭と背後幹線道路を連結する臨港道路、林田・阿河浜線を供用開始した。

また、平成16年7月の、S O L A S条約の改正に関連した国内法(略称:国際船舶・港湾保安法)の施行に基づき、公共埠頭では中央埠頭1号岸壁・中央埠頭2号岸壁及び林田A号岸壁が、民間埠頭では、三菱化学(株)、コスモ石油(株)、全農エネルギー(株)で保安対策を実施し、世界標準規格を満たす貿易港の機能を保持している。

また、平成17年11月の、F A L条約(国際海上交通の簡易化に関する条約)の施行に基づき、同条約に係る様式、及びそれ以外の手続(一部)申請の電子化(港湾E D Iシステム)を実施し、簡易化・迅速化を図る。

これらにより、海陸の結接点として四国の玄関港となり、さらに大きく飛躍するものと期待されている。

## 坂出港の沿革

年 代	西 暦	記 事
天保 2 年	1 8 3 1	帆船錨地として沖湛甫築造。
大正 元 年	1 9 1 2	築港期成同盟会生れる。
大正 5 年	1 9 1 6	五ヶ年計画を以って内港運河の浚渫工事施工。
昭和 2 年	1 9 2 7	西岸壁・東西埋立地等第 1 期改修工事に着手、昭和 7 年まで実施。 (工事費 1 4 2 万 6 千円)
昭和 12 年	1 9 3 7	中央突堤の築造を県営工事として、第 2 期改修工事に着手、 第 2 次世界大戦のため中断し、昭和 3 8 年 2 月完成。
昭和 20 年	1 9 4 5	1 0 月 2 4 日 坂出港振興協会発会式。
昭和 21 年	1 9 4 6	1 2 月 2 1 日 南海大震災により、西岸壁災害を受ける。
昭和 22 年	1 9 4 7	3 月 震災復旧工事・臨港鉄道敷設に着手。
昭和 23 年	1 9 4 8	1 月 1 日 税関法による開港となる。 7 月 1 6 日 港則法による港の区域の指定。
昭和 24 年	1 9 4 9	1 1 月 輸入食糧第 1 船(石狩川丸)入港。 1 2 月 臨港鉄道中央岸壁線開通。
昭和 26 年	1 9 5 1	6 月 2 0 日 港湾運送事業法により指定港となる。 9 月 2 2 日 港湾法施行令により重要港湾となる。
昭和 27 年	1 9 5 2	7 月 3 1 日 出入国管理令により外国人の出入港となる。
昭和 28 年	1 9 5 3	7 月 3 0 日 港湾区域が決り、坂出市が港湾管理者となる。
昭和 29 年	1 9 5 4	1 2 月 1 6 日 植物防疫法により、穀類・木材の輸入港に指定。
昭和 33 年	1 9 5 8	7 月 1 日 検疫法により検疫区域の指定。
昭和 35 年	1 9 6 0	1 1 月 港湾審議会第 1 1 回計画部会。
昭和 37 年	1 9 6 2	1 月 江尻地区臨港道路新設工事着手。(38年3月竣功) 金山新塩田埋立工事着手。(38年10月竣功)
昭和 39 年	1 9 6 4	1 1 月 港湾審議会第 2 4 回計画部会。(改訂)
昭和 40 年	1 9 6 5	3 月 5 日 臨港地区を指定。 4 月 県営番の州地区第 1 期公有水面埋立工事着手 (48年6月竣功 4,589,219㎡)
昭和 43 年	1 9 6 8	1 2 月 1 6 日 港湾区域を拡張し、番の州地先海面が含まれる。
昭和 44 年	1 9 6 9	1 月 県営番の州地区第 2 期公有水面埋立工事着手。 (47年12月竣功 1,439,989㎡) 3 月 2 5 日 林田地区改修事業に着手。
昭和 45 年	1 9 7 0	1 1 月 2 0 日 港湾区域を変更し、松ヶ浦港が含まれる。 3 月 西浜地区公有水面埋立工事着手。 (47年8月竣功 59,452㎡) 5 月 3 0 日 臨港地区を指定変更し、番の州地区等を追加。

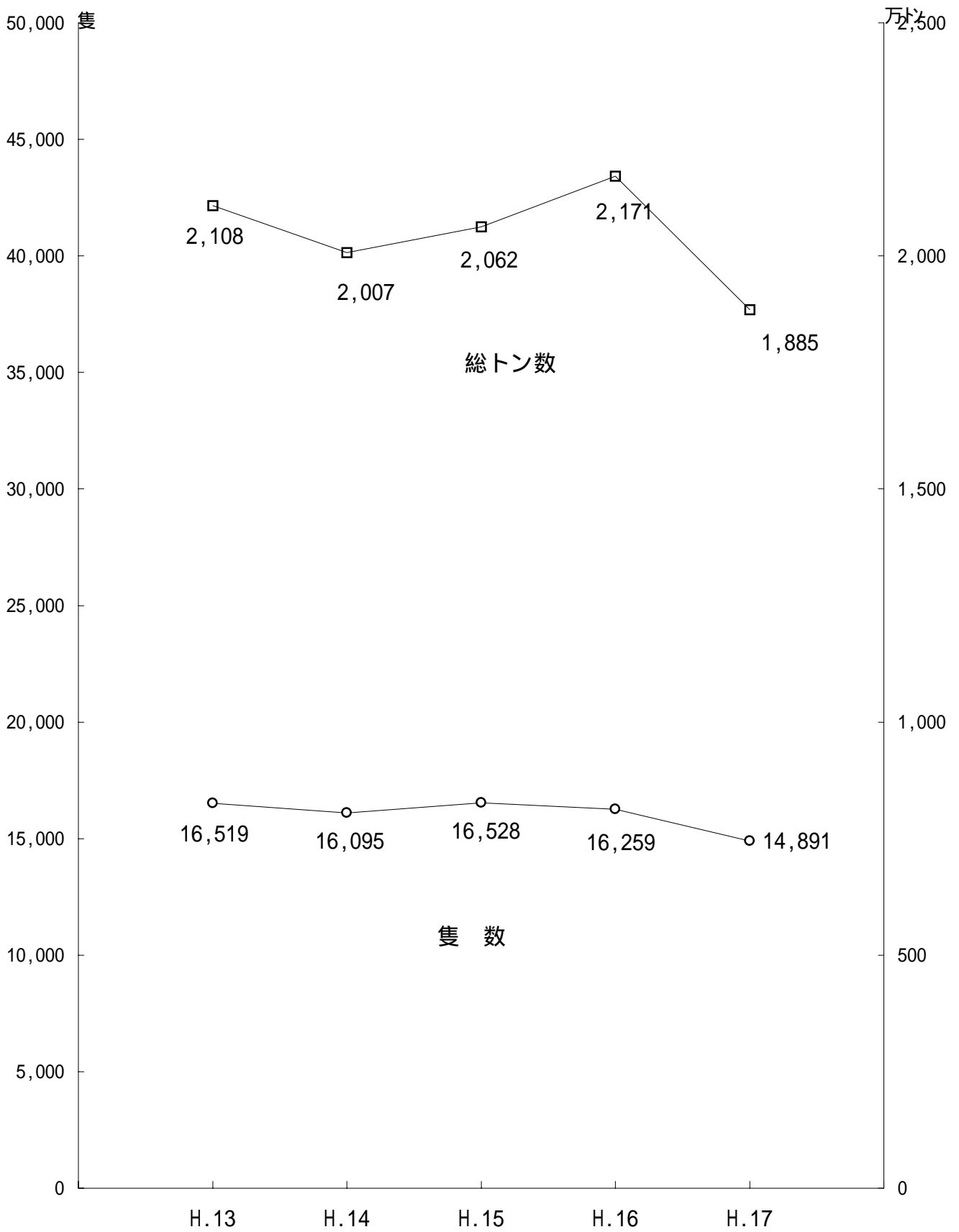
年 代	西 曆	記 事
昭和 46 年	1 9 7 1	4月 1日 港湾合同庁舎完成。
昭和 47 年	1 9 7 2	10月 県営番の州瀬居南公有水面埋立工事着手。 (50年10月竣功 161,558㎡)
昭和 51 年	1 9 7 6	11月 林田、阿河浜地区公有水面埋立工事着手。 (林田地区 56年11月竣功 209,873㎡) (阿河浜地区 58年3月竣功 80,162㎡)
昭和 55 年	1 9 8 0	3月 港湾審議会第89回計画部会。(改訂) 9月 8日 坂出清港会設立。
昭和 57 年	1 9 8 2	4月 林田地区 - 7.5m 2バース・ - 1.2m 岸壁を供用開始。
昭和 58 年	1 9 8 3	3月 沿岸環境監視船「おおはし」建造。
昭和 59 年	1 9 8 4	6月 港湾環境設備事業により、みなと林田緑地が完成。
昭和 60 年	1 9 8 5	7月 西運河船客待合所が完成。
昭和 61 年	1 9 8 6	10月 臨港線が廃止される。 12月 港湾審議会第117回計画部会。(改訂)
昭和 63 年	1 9 8 8	4月 本州四国連絡橋(瀬戸大橋)供用開始。
平成 3 年	1 9 9 1	4月 阿河浜地区 - 7.5m 岸壁供用開始。
平成 4 年	1 9 9 2	4月 松ヶ浦地区 - 5m 岸壁 2バース供用開始。
平成 6 年	1 9 9 4	4月 総社地区小型船だまり供用開始。
平成 9 年	1 9 9 7	11月 港湾審議会第164回計画部会。(改訂)
平成 10 年	1 9 9 8	1月 1日 坂出港開港50周年。 12月 坂出市港務所改築完成。
平成 12 年	2 0 0 0	5月 臨港道路 林田・阿河浜線供用開始。
平成 16 年	2 0 0 4	8月 2日 中央埠頭1号岸壁・林田A号岸壁で港湾保安対策開始。
平成 17 年	2 0 0 5	1月 31日 中央埠頭2号岸壁で港湾保安対策開始。 2月 7日 坂出港国際水域施設保安対策開始。
平成 18 年	2 0 0 6	1月 4日 港湾EDIシステム開始。

## 目 次

ページ

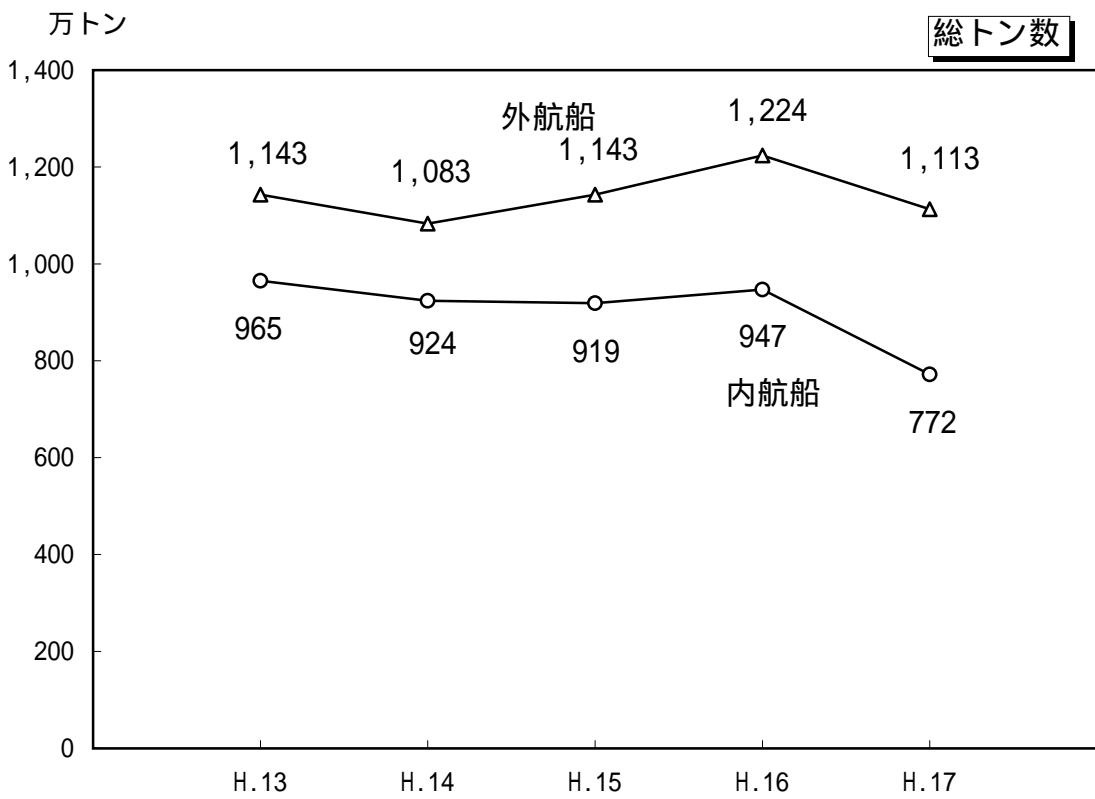
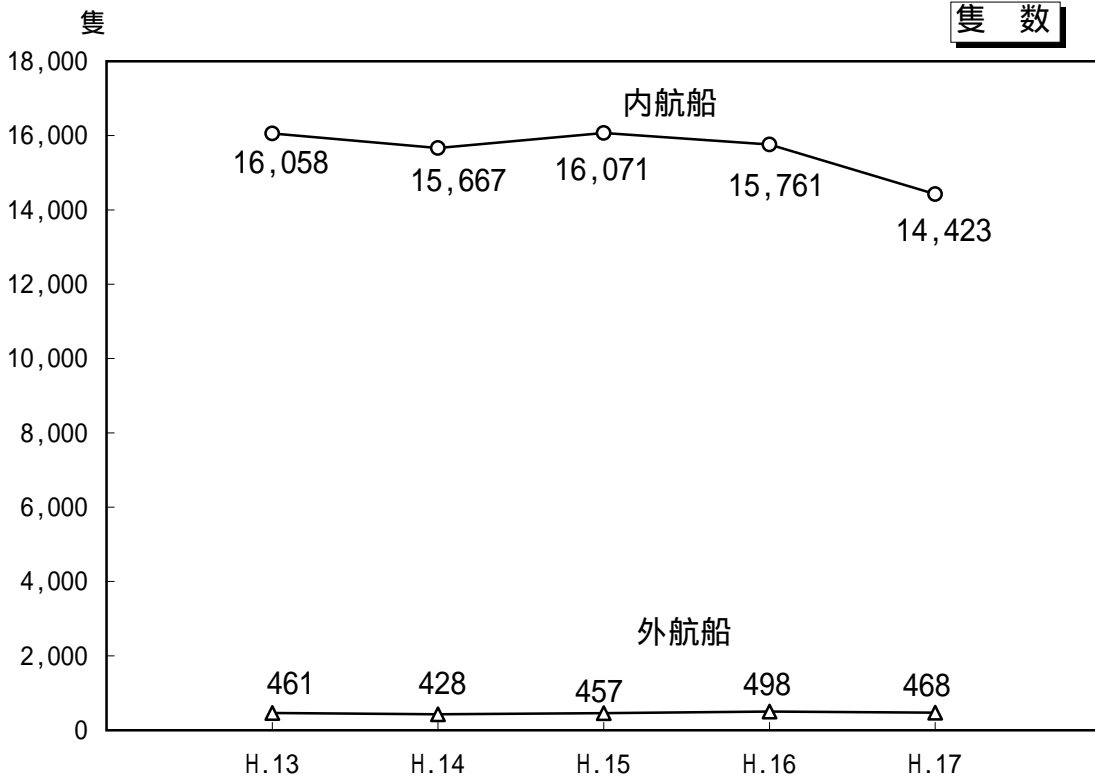
入港船舶年次比較表	1
内外航別船舶年次比較表	2
入港船舶階級別年次比較表（隻数）	3
入港船舶階級別年次比較表（総トン数）	4
海上出入貨物年次比較表	5
輸移出入別比較表	6
輸出入主要品目	7
移出入主要品目	8
外貿貨物（主要品目）仕向地別（輸出）	9
外貿貨物（主要品目）仕出地別（輸入）	10
内貿貨物（主要品目）仕向地別（移出）	11
内貿貨物（主要品目）仕出地別（移入）	12
地域別入港船舶及び貨物量（1号泊地）	13
地域別入港船舶及び貨物量（2号泊地）	14
地域別外貿（主要品目）貨物量（1号泊地）	15
地域別外貿（主要品目）貨物量（2号泊地）	16
地域別内貿（主要品目）貨物量（1号泊地）	17
地域別内貿（主要品目）貨物量（2号泊地）	18
入港船舶年次比較表	19
海上出入貨物年次比較表	19

# 入港船舶年次比較表

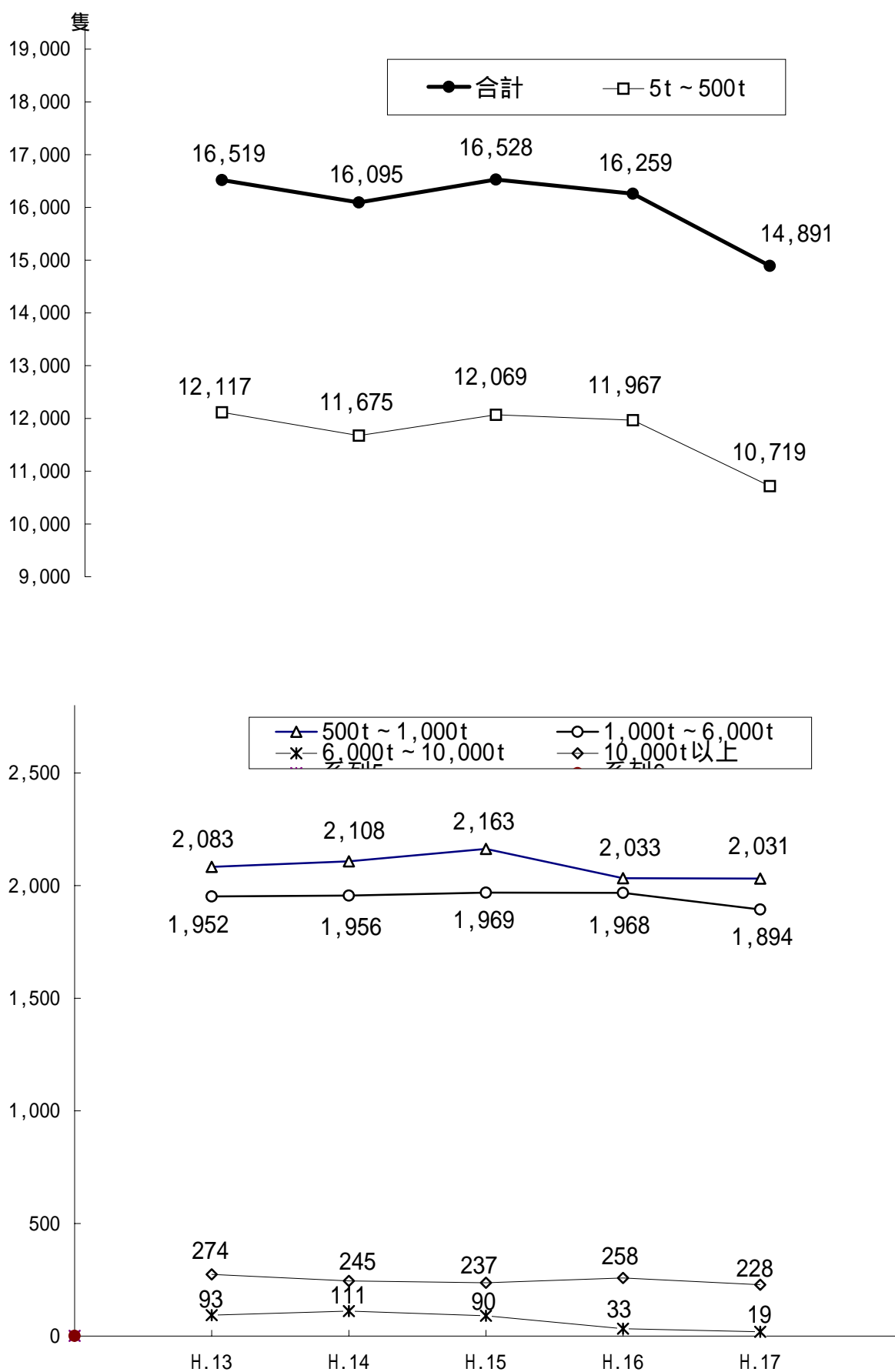




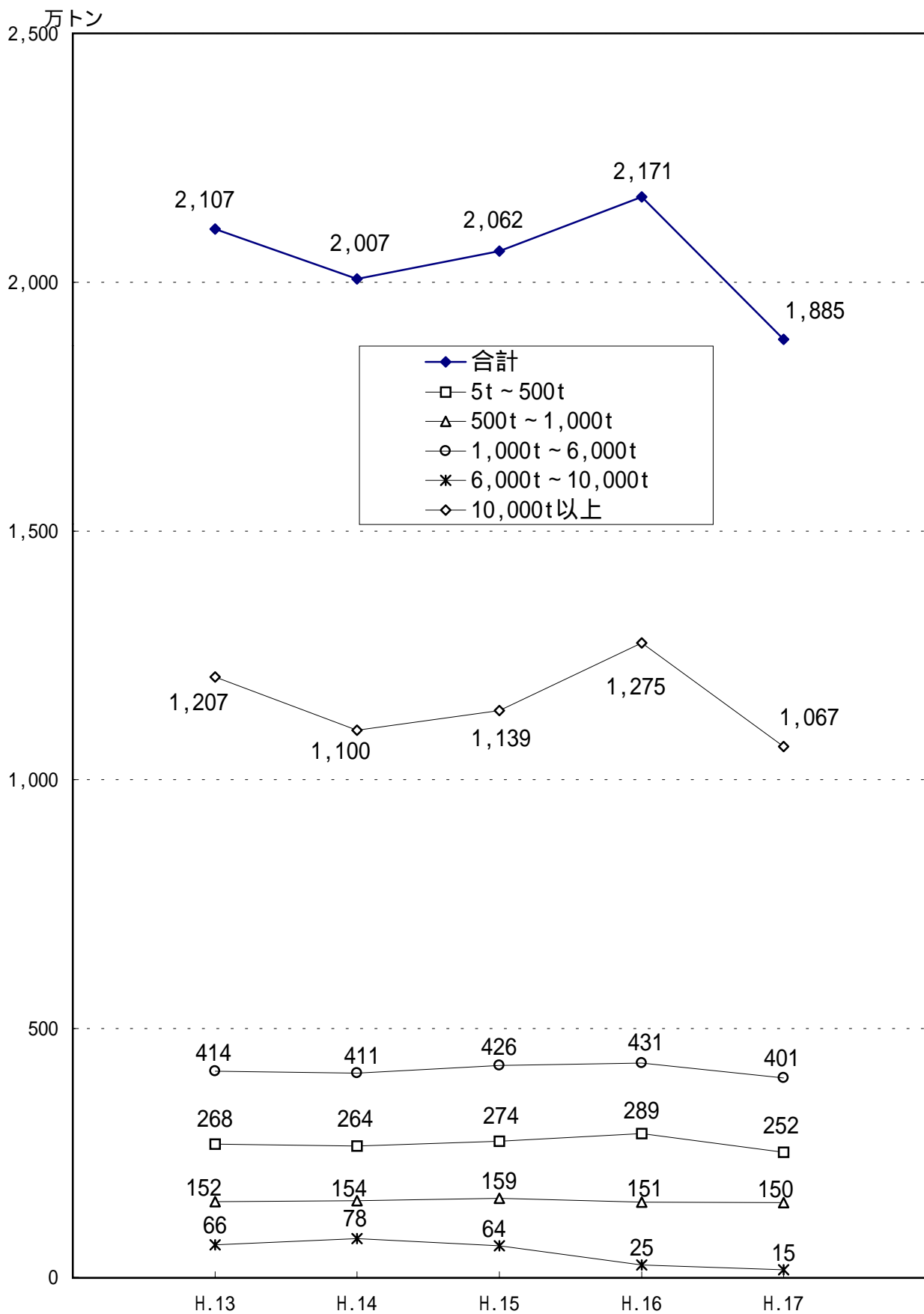
# 内外航別入港船舶数比較表



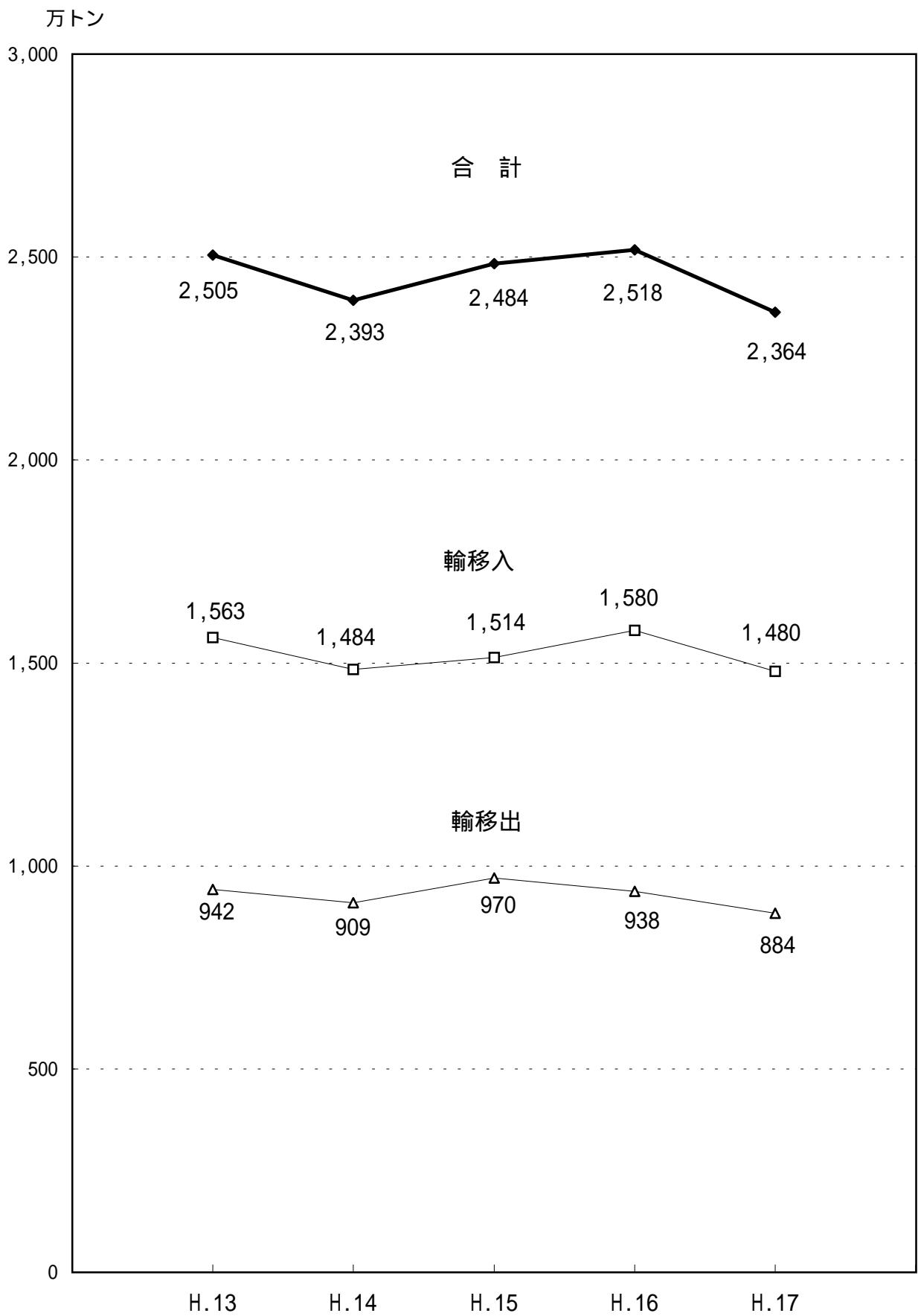
## 入港船舶階級別年次比較表（隻数）



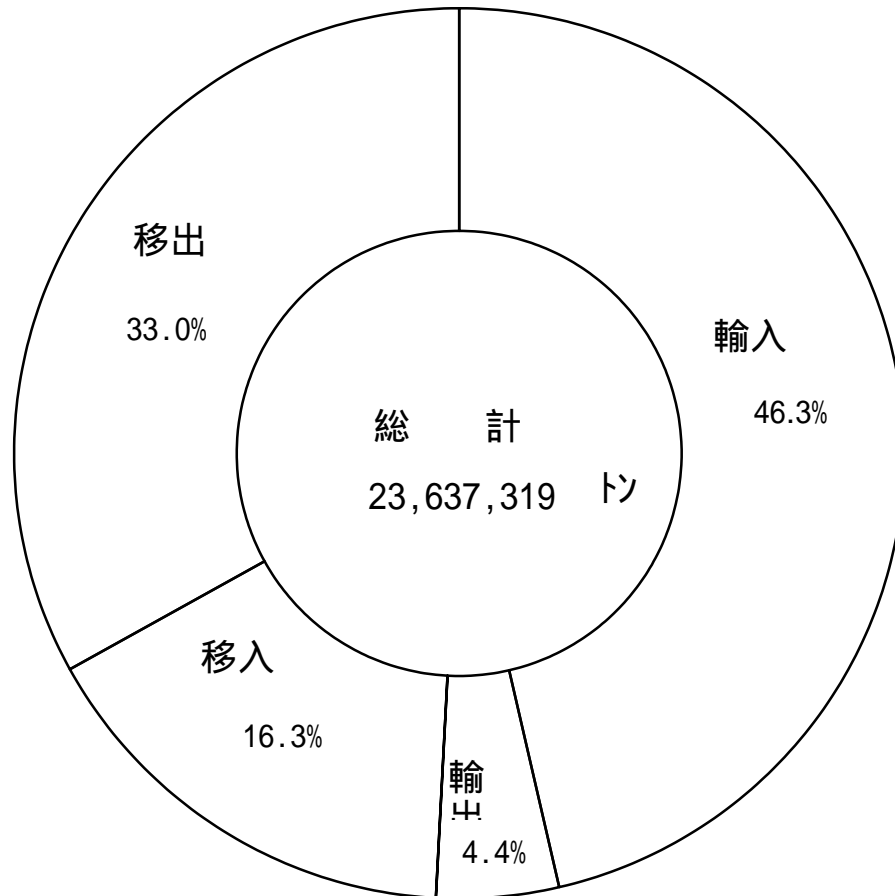
# 入港船舶階級別年次比較表(総トン数)



# 海上出入貨物年次比較表



# 輸移出入別比較表

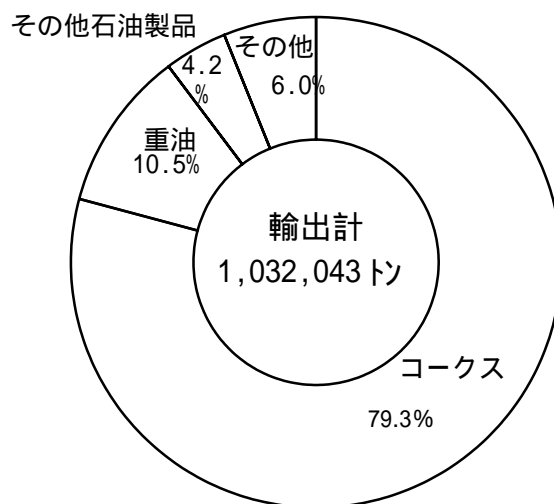


単位：トン

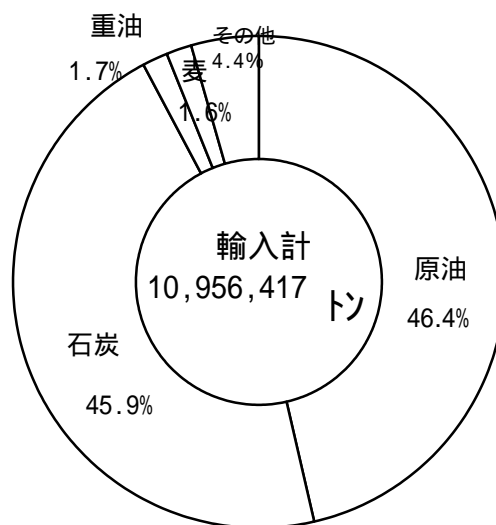
総計	23,637,319
輸入	10,956,417
輸出	1,032,043
移入	3,842,906
移出	7,805,953

## 輸出入主要品目

### 輸出



### 輸入

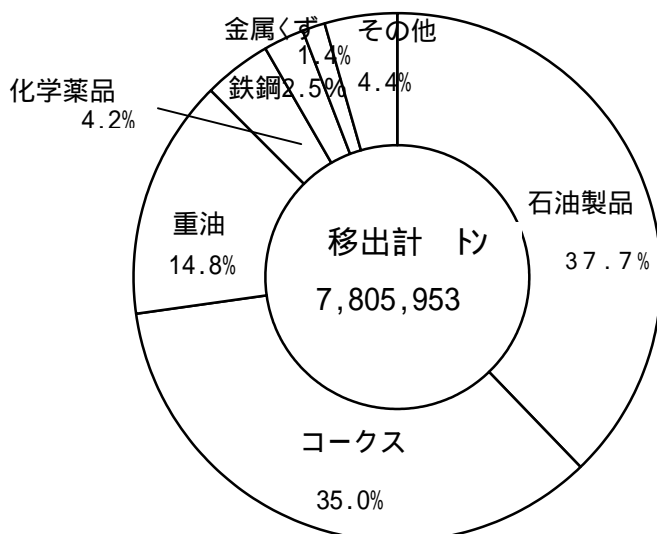


単位：トン

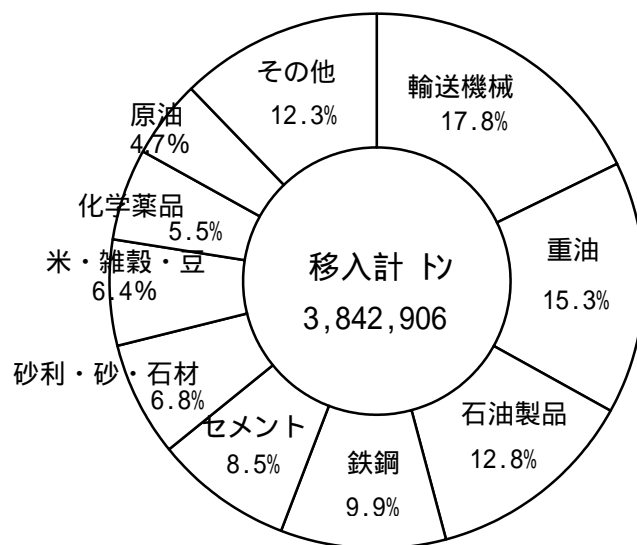
輸 出		輸 入	
コークス	818,296	原油	5,077,992
重油	108,449	石炭	5,028,889
その他石油製品	43,479	重油	185,613
その他	61,819	小麦	178,852
		その他	485,071
計	1,032,043	計	10,956,417

# 移出入主要品目

## 移出



## 移入

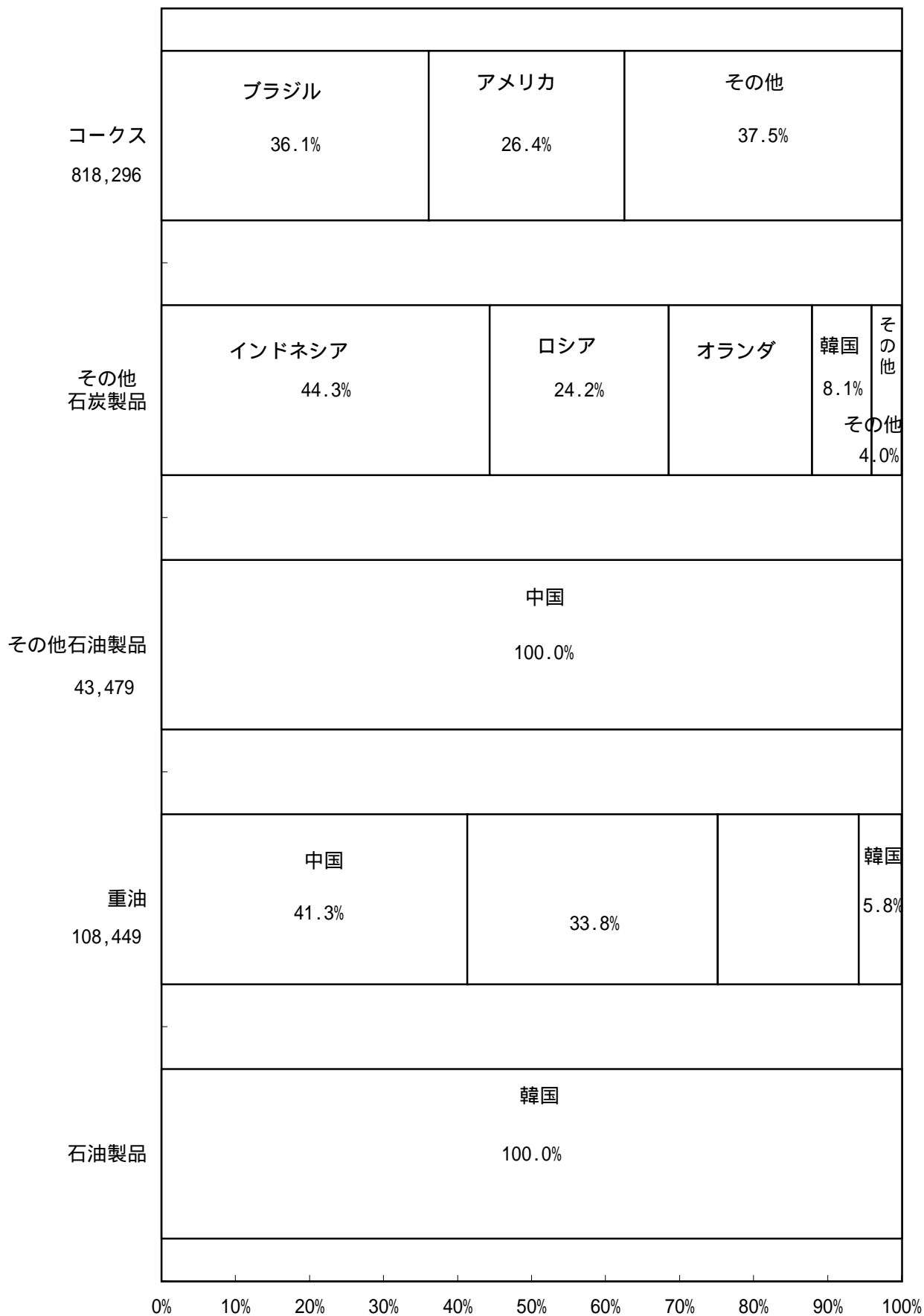


単位：トン

移 出		移 入	
石 油 製 品	2,946,068	輸 送 機 械	682,995
コ ー ク ス	2,735,709	重 油	587,053
重 油	1,153,007	石 油 製 品	492,495
化 学 薬 品	323,968	鉄 鋼	379,043
鉄 鋼	199,104	セ メ ン ト	326,969
金 属 く ず	107,331	砂 利 ・ 砂 ・ 石 材	262,020
そ の 他	340,766	米 ・ 雑 穀 ・ 豆	248,286
		化 学 薬 品	212,068
		原 油	180,183
		そ の 他	471,794
計	7,805,953	計	3,842,906

輸出

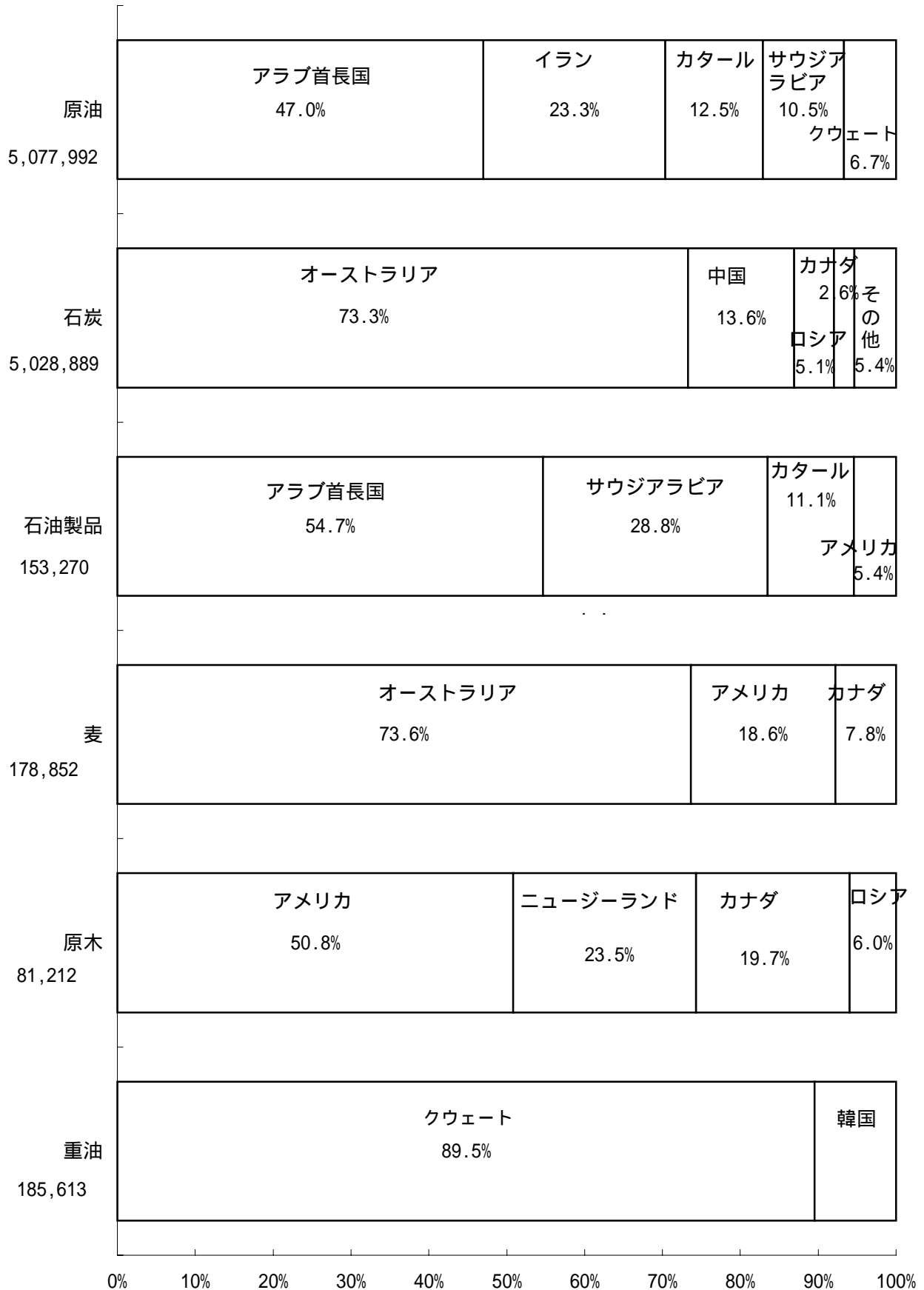
外貿貨物（主要品目）仕向地別





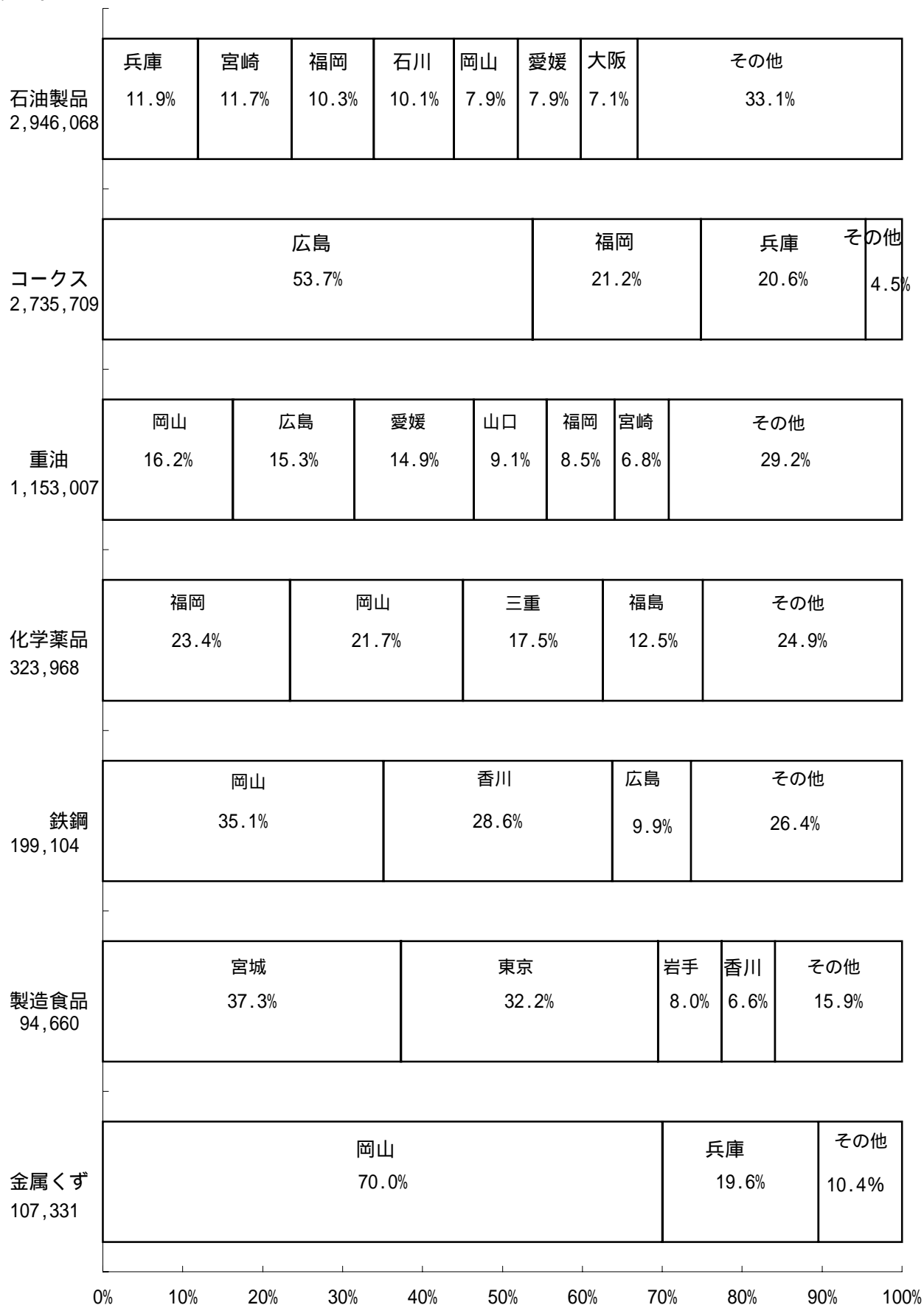
## 外貿貨物（主要品目）仕出地別

輸入



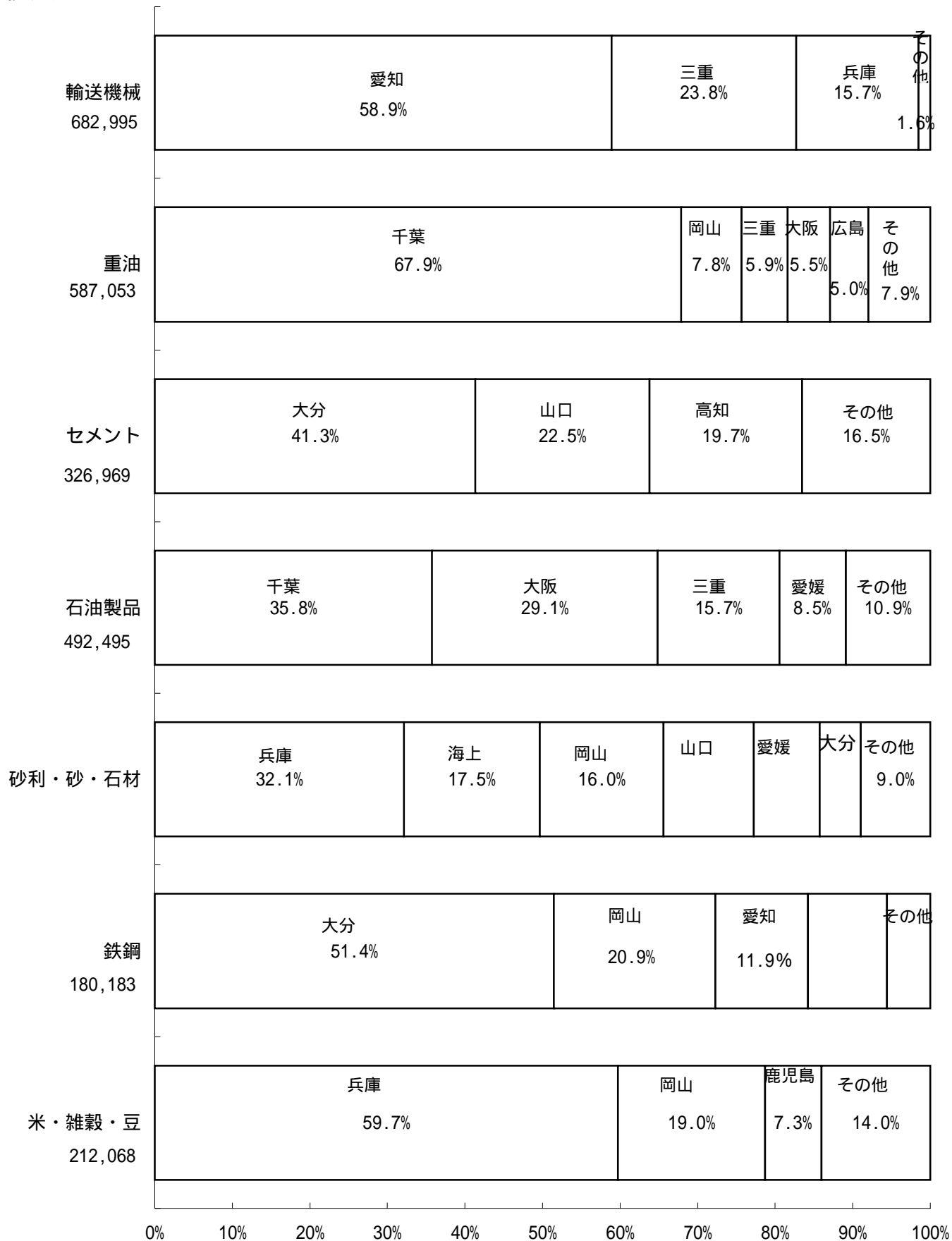
## 内貿貨物（主要品目）仕向地別

移出



移入

## 内貿貨物（主要品目）仕出地別

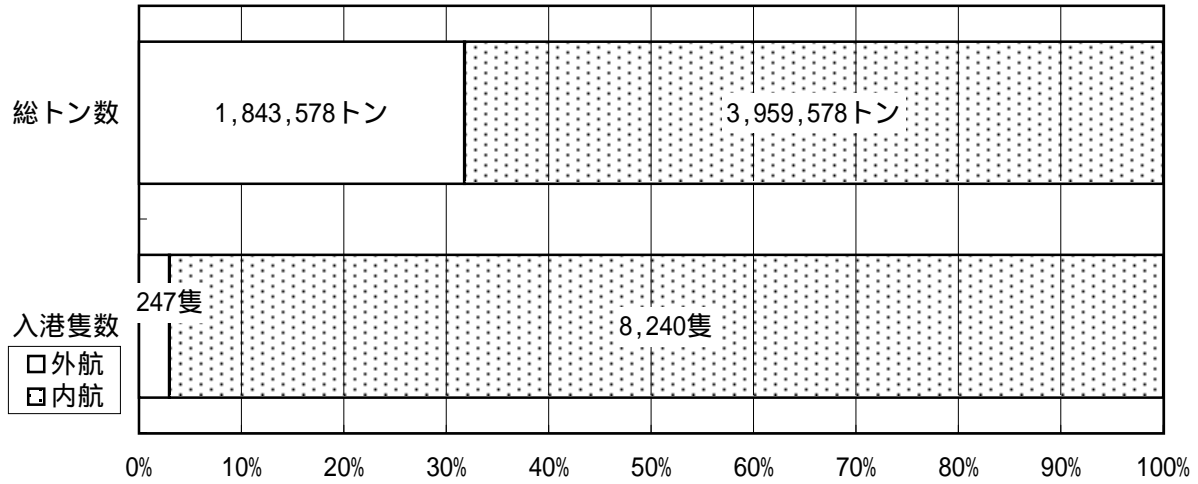


# 地域別入港船舶及び貨物量

1号泊地（本港）

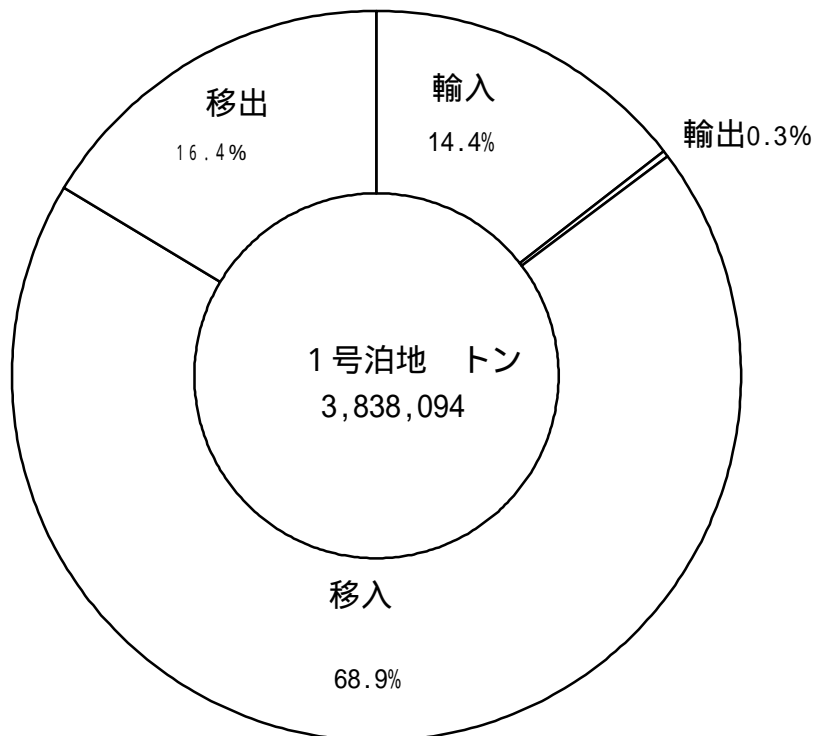
入港船舶

	入港隻数	総トン数
外航	247隻	1,843,578トン
内航	8,240隻	3,959,578トン
計	8,487隻	5,803,156トン



貨物量

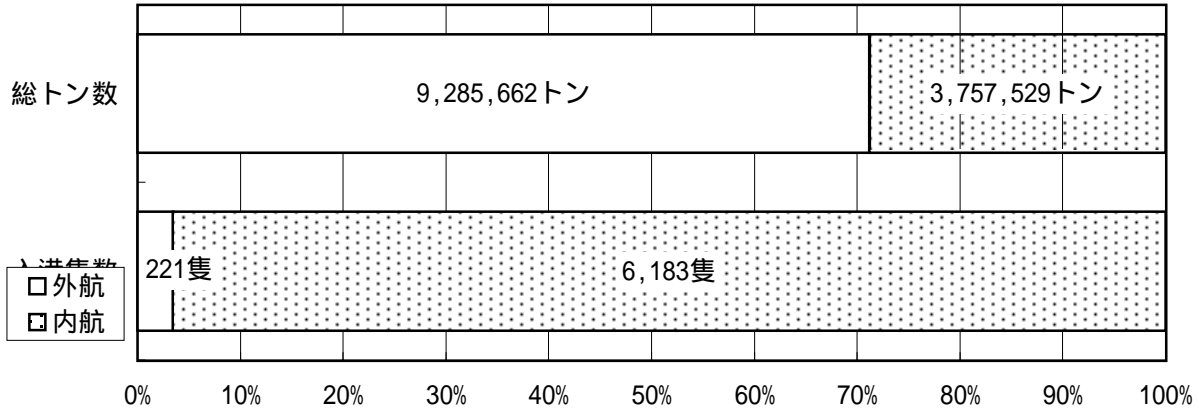
輸入	551,889トン
輸出	13,910トン
移入	2,644,274トン
移出	628,021トン
計	3,838,094トン



入港船舶  
2号泊地(番の州)

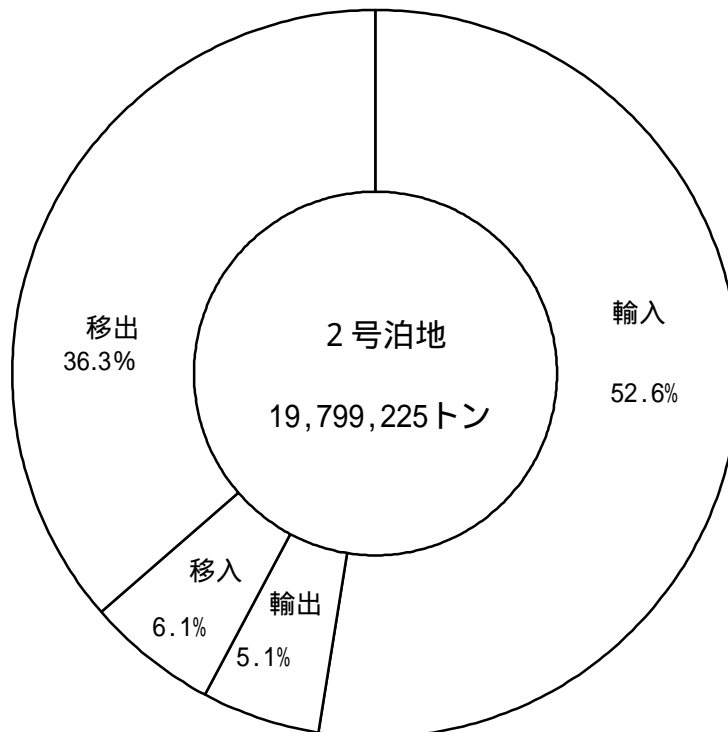
地域別入港船舶及び貨物量

	入港隻数	総トン数
外航	221隻	9,285,662トン
内航	6,183隻	3,757,529トン
計	6,404隻	13,043,191トン



貨物量

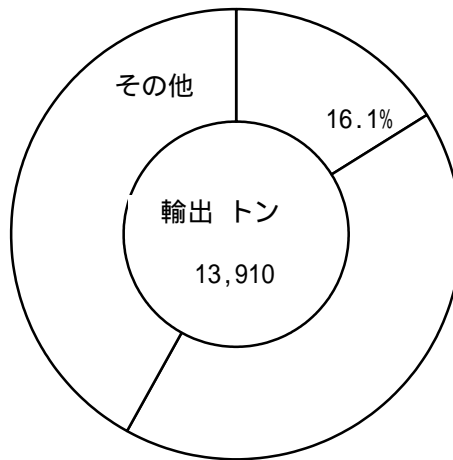
輸入	10,404,528トン
輸出	1,018,133トン
移入	1,198,632トン
移出	7,177,932トン
計	19,799,225トン



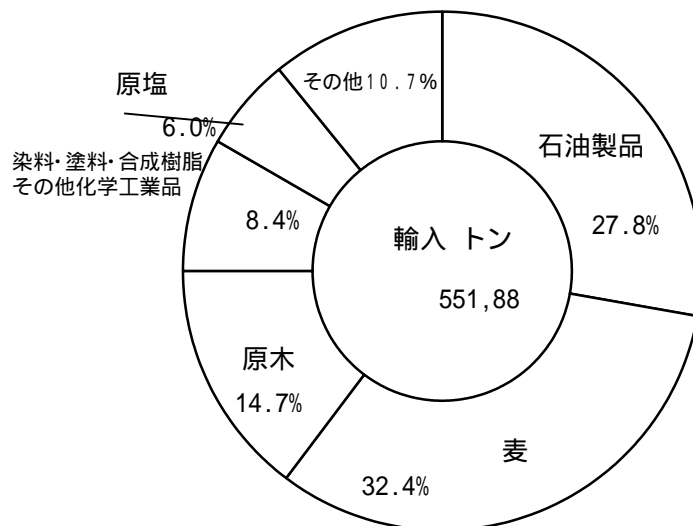
# 地域別外貿（主要品目）貨物量

1号泊地（本港）

輸出



輸入



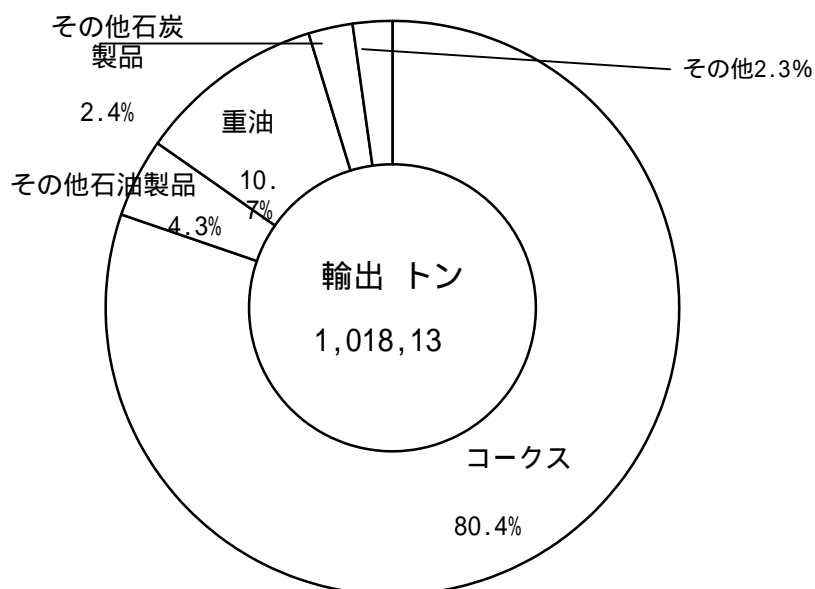
単位：トン

輸 出		輸 入	
化学肥料	2,234	石油製品	153,270
米・雑穀	5,858	麦	178,852
その他	5,818	原木	81,212
		染料・塗料・合成樹脂 その他化学工業品	46,100
		原塩	33,280
		その他	59,175
計	13,910	計	551,889

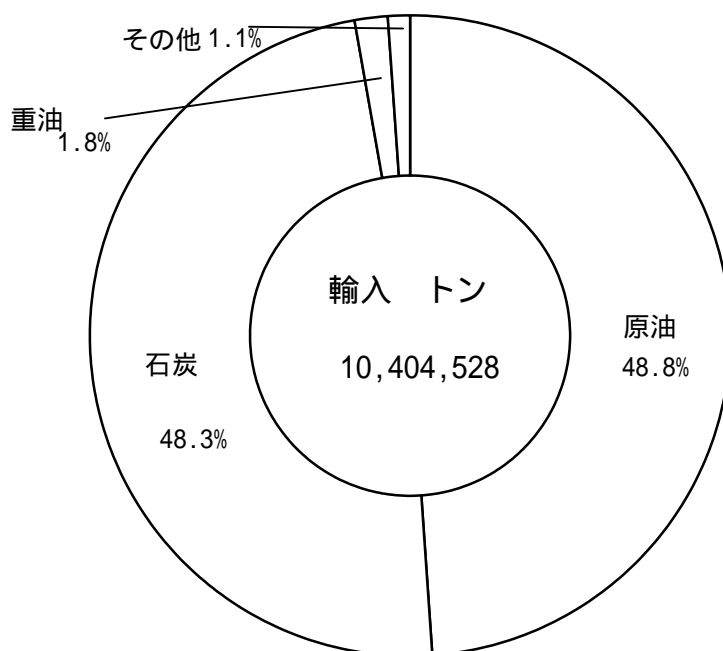
## 地域別外貿（主要品目）貨物量

2号泊地（番の州）

輸出



輸入

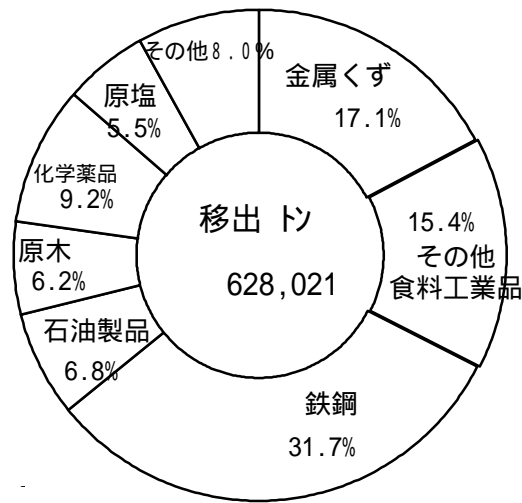


単位：トン

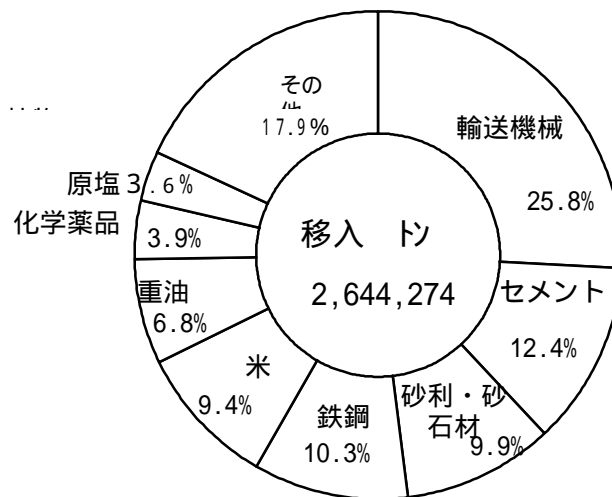
輸出		輸入	
コークス	818,296	原油	5,077,992
その他石油製品	43,479	石炭	5,028,889
重油	108,449	重油	185,613
その他石炭製品	24,810	その他	112,034
その他	23,099		0
計	1,018,133	計	10,404,528

# 地域別内貿（主要品目）貨物量

1号泊地（本港）  
移出



移入



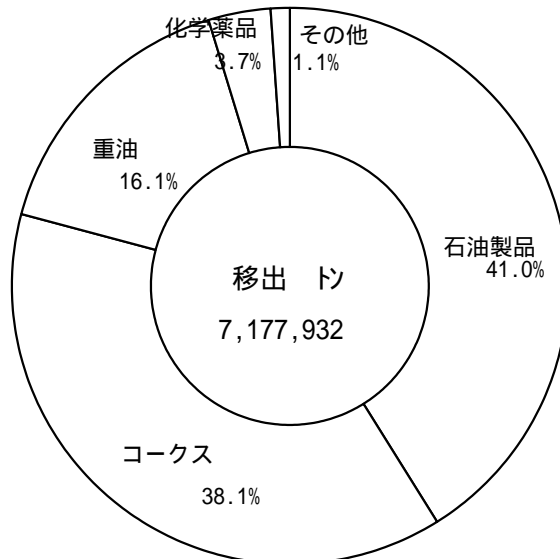
単位：トン

移 出		移 入	
金属くず	107,331	輸送機械	682,995
その他食料工業品	96,539	セメント	326,969
鉄鋼	199,104	砂利・砂・石材	262,115
石油製品	42,854	鉄鋼	272,187
原木	38,873	米	248,286
化学薬品	58,041	重油	179,889
原塩	34,795	化学薬品	102,816
その他	50,484	原塩	94,300
		その他	474,717
計	628,021	計	2,644,274

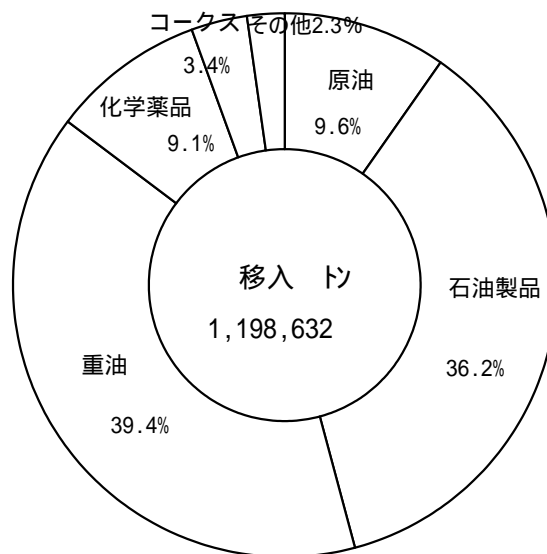


# 地域別内貿（主要品目）貨物量

2号泊地（番の州）  
移出



移入



単位：トン

移 出		移 入	
石油製品	2,946,120	原油	115,297
コークス	2,735,709	石油製品	434,214
重油	1,152,687	重油	472,050
化学薬品	265,927	化学薬品	109,252
その他	77,489	コークス	40,479
		その他	27,340
<b>計</b>	<b>7,177,932</b>	<b>計</b>	<b>1,198,632</b>

## 入港船舶年次比較表

年次	総計		外航船		内航船	
	隻数 隻	総トン数 トン	隻数 隻	総トン数 トン	隻数 隻	総トン数 トン
13年	16,519	21,078,996	461	11,427,768	16,058	9,651,228
14年	16,095	20,068,460	428	10,831,047	15,667	9,237,413
15年	16,528	20,617,150	457	11,425,085	16,071	9,192,065
16年	16,259	21,712,435	498	12,238,453	15,761	9,473,982
17年	14,891	18,846,347	468	11,129,240	14,423	7,717,107

## 海上出入貨物年次比較表

単位：トン

年次	出			入			総計
	輸出	移出	出計	輸入	移入	入計	
13年	1,223,494	8,201,417	9,424,911	10,446,875	5,180,013	15,626,888	25,051,799
14年	1,206,392	7,884,428	9,090,820	10,382,674	4,460,049	14,842,723	23,933,543
15年	1,112,568	8,591,347	9,703,915	11,181,715	3,962,773	15,144,488	24,848,403
16年	1,095,053	8,286,720	9,381,773	11,311,031	4,484,388	15,795,419	25,177,192
17年	1,032,043	7,805,953	8,837,996	10,956,417	3,842,906	14,799,323	23,637,319

年次	外国貿易			内国貿易			総計
	輸出	輸入	計	移出	移入	計	
13年	1,223,494	10,446,875	11,670,369	8,201,417	5,180,013	13,381,430	25,051,799
14年	1,206,392	10,382,674	11,589,066	7,884,428	4,460,049	12,344,477	23,933,543
15年	1,112,568	11,181,715	12,294,283	8,591,347	3,962,773	12,554,120	24,848,403
16年	1,095,053	11,311,031	12,406,084	8,286,720	4,484,388	12,771,108	25,177,192
17年	1,032,043	10,956,417	11,988,460	7,805,953	3,842,906	11,648,859	23,637,319